

淡江大学設立70周年記念行事シリーズ活動

2020年「AIと日本語教育との協働」国際シンポジウム
プログラム

場所 淡江大学淡水キャンパス（新北市淡水區英專路151号）
会場 驚声国際会議センター・オンライン（ビデオ会議システムとしてMS Teamsを利用）
時間 2020年06月20日（土）09:00-17:05

0830-0900	受付（驚声国際会議センター前）	
0900-0920	開会式 会場 驚声国際会議センター・オンライン両方 司会 蔡 佩青（淡江大学准教授） 開会の詞 曾 秋桂（淡江大学教授兼日本語学系主任・村上春樹研究センター主任） 吳 萬寶（淡江大学外国語学部学部長） 松原 一樹（公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長）	
0920-0930	休憩時間	
0930-1020	基調講演① 会場 驚声国際会議センター・オンライン両方 司会 賴 振南（輔仁大学教授） 題目 AIと日本語教育との協働—応用と開拓を目指して— 講演者 落合 由治（淡江大学特聘教授）	
1020-1110	基調講演② 会場 驚声国際会議センター・オンライン両方 司会 黃 翠娥（輔仁大学教授） 題目 AI時代における日本語教師の役割 講演者 賴 錦雀（東呉大学特聘教授）	
1110-1120	休憩時間	
1120-1125	招待発表 会場 驚声国際会議センター・オンライン両方 司会 彭 春陽（淡江大学教授）	
1125-1145	申 忠均（全北大学校教授） AIとの協働による外国語教育 韓国における模索	
1145-1150	質疑応答	
1150-1300	昼食時間	
1300-1305	セッション① 会場 驚声国際会議センター・オンライン両方 コメンテーター 范 淑文（台湾大学教授） 曾 秋桂（淡江大学教授）	セッション② 会場 T311・オンライン両方 コメンテーター 落合 由治（淡江大学特聘教授） 黃 金堂（中国文化大学准教授）
1305-1325	AIのテキストマイニング技術によるエコフェミニズム文学研究への支援—多和田葉子『地球にちりばめられて』を例にして— 王 嘉臨（淡江大学准教授）	台湾と日本におけるAI教育戦略の比較について 神作 晋一（南台科技大学助理教授）
1325-1345	テキストマイニングに基づく志賀直哉小説の言語的特徴研究—「網走まで」と「和解」の比較を中心に— 葉 婁（淡江大学助理教授）	音声入力・認識システムと日本語教育—中上級日本語学習者によるディクテーション課題の内容について— 蘇 彦如（東呉大学博士課程）
1345-1405	日本語学研究的補助としてのAI—村上春樹の小説を例にして— 質疑応答	台湾の高等学校第二外国語教育における動画コンテンツ、WEBゲームを使った動機付けの一考察 質疑応答
1405-1420	休憩時間	
1420-1430	休憩時間	
1430-1435	セッション③ 会場 驚声国際会議センター・オンライン両方 コメンテーター 林 立萍（台湾大学教授） 王 佑心（銘伝大学准教授）	セッション④ 会場 T311・オンライン両方 コメンテーター 李 偉煌（靜宜大学准教授） 池畑 裕介（中国文化大学推広部教師）
1435-1455	物語の技術を考えるために—漱石『文学論』と記号推論の関連性について 蔡 佩青（淡江大学准教授）・魏 世杰（淡江大学准教授）	社会人日本語上級クラスにおけるYOUTUBEの絵本活用の一試み 王 湘榕（靜宜大学助理教授）
1455-1515	正規表現による文型検索ツールの提案と試作 質疑応答	zuvioIRSを取り入れた上級聴解授業の試み 質疑応答
1515-1525	休憩時間	
1525-1530	休憩時間	
1530-1630	パネルディスカッション テーマ AIと日本語教育との協働 会場 驚声国際会議センター・オンライン両方 司会 曾 秋桂（淡江大学教授兼学系主任）	パネリスト① 方 献洲（中国文化大学准教授兼学系主任） パネリスト② 羅 濟立（東呉大学教授兼学系主任） パネリスト③ 楊 錦昌（輔仁大学教授） パネリスト④ 林 長河（銘伝大学教授兼学系主任） パネリスト⑤ 林 慧君（台湾大学教授） パネリスト⑥ 邱 若山（靜宜大学教授兼学系主任） パネリスト⑦ 落合 由治（淡江大学特聘教授） パネリスト⑧ 賴 錦雀（東呉大学特聘教授） パネリスト⑨ 申 忠均（全北大学校教授）
1630-1700	総合討論	
1700-1705	閉会式 会場 驚声国際会議センター・オンライン両方 司会 蔡 佩青（淡江大学准教授） 閉会の詞 曾 秋桂（淡江大学教授兼日本語学系主任・村上春樹研究センター主任）	

主催 淡江大学日本語学系・淡江大学村上春樹研究センター
共催 台湾日本語教育学会
後援 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所